



新年にあたって

一般社団法人藤野観光協会 副代表理事 名久井孝昭

<会員各位、藤野の皆さまにメッセージをお願いします>

先ずもって、台風 19 号により被災された方が、少しでも早く以前の生活に戻れること、そして今年は災害のない良い年であることを心よりお祈りいたします。

台風は藤野地区の観光にも大きな影響を与えました。施設等が損壊し、経営そのものが出来なくなってしまった会員もありますし、施設自体の被害はまぬかれたとしても、交通アクセスの壊滅等で観光客をはじめとする来訪者が激減、経営にダメージがあった会員も少なからぬことと思います。観光協会としても皆さまが従前の経営ができるようになるための力になり、藤野らしさを取り戻して行きたいと考えていますので、本年も引き続きよろしくをお願いします。

<観光協会の活動のなかで印象的なことを聞かせてください>

移住促進です。私が藤野に初めて来たのは、まだ学生の頃でした。それまでは藤野の名前も知らず、高尾から先は山梨県だと思っていました。藤野に来て思ったことは、東京の近くにこんな田舎、今の言葉でいえば自然豊かな里山があるんだ、ここから同じ大学に通うこともできるんだということでした。大学卒業そして就職した後、縁あって(妻の実家が藤野にあります)藤野に住むことになりました。

藤野はもちろん自然豊かな里山に恵まれています、そこに住んでいる人たちが穏やかでゆったり生活していることも魅力です。観光協会が進めている移住促進事業を見てみると、藤野に住みたいという方が非常に多くいることが分かり、うれしく思います。ただ、住んでもらうための物件が少ないことは残念なこと。そこをなんとかできればと思います。



<新たな年、どんな希望をおもちですか>

できれば藤野で行われているイベントの全てを見てみたいです。藤野にはアーティストなどが絡む特色あるイベントが多いです。でもなかなか時間がなくて、せっかくなイベントのチラシをもらっても行けないのが現実でした。今年は何とかたくさんイベントを見て回りたいです。

<将来に向けて夢を聞かせて下さい>

幼いころ、若い時のさまざまな「体験」は人生にとって大切な意味をもつものです。

時代はますますデジタルな社会になるのですが、その意義は受けとめつつもさまざまな「体験」が軽んじられるような社会になってはいけないと思います。

その意味で、子どもや若者に藤野で楽しく「体験」をしてもらうような機会を作りたいです。藤野は有名な観光地とは全く違って、まだまだ知らない方は多いですが、登山に適した山、湖、温泉があり自然も豊か、里山体験をするにはネタに困らない地域です。多くの子どもたちや若者がそんな「体験」を求めて藤野に来てほしいです。



藤野里山体験ツアー、好調です ツアーの受入れを始めてみませんか

里山体験ツアーは藤野から始まりましたが、徐々に参加者が増え、年間 500 人を超すに至っています。また、昨年度より津久井地域の各団体とも提携して展開するようになってきました。これについては、専用の HP「りとりと」(<https://ritorito.jp/>) をご覧ください。ツアーをより充実させていくためには受入れ家庭を増やすことが必須です。受入れには一定の経済的な効果もあります。



りとりと

ご関心のおありの方、観光協会までご連絡下さい
TEL 042-684-9503(平日 8:30-17:00 受付)

引き続き、移住促進活動に取り組んでいます



新年のあいさつでも触れていますように、「藤野に住みたい」という人はますます増えています。これを受けて、観光協会は「相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会」の事務局として、移住に関する総合的なマッチング業務等、移住促進のための活動に取り組んでいます。現在一番の課題は、移住希望者に提供できる物件が非常に少ない状況をどう克服していくか、です。空き家、空き地の情報がありましたらぜひ観光協会にご連絡下さい。

藤野への移住を考えている人がいます！
空き家・空き地の情報をおもちの方
ぜひ観光協会にご一報ください
TEL 042-684-9503(平日 8:30-17:00 受付)